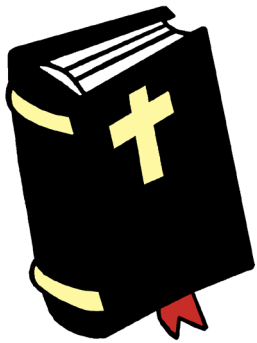


せいしよじだい まち まち 聖書時代の町：タルソの町



タルソ（げんざい にほんごめい は、しと パウロ（サウロ）が う まれた まち 町です。トルコ共和国の ちゆうなんぶ まち、地中海から 20kmほど ないりく はい 所 に入っています。現在も、その まち はトルコに ぜんざい 存在しています。

しんやくせいしよ じだい ひがし にし おお ぼうえき じょう
新約聖書の時代、タルソは、東と西をつなぐ大きな貿易ルート上にありました。この貿易ルートにあるタルソは、ちゆうかい ちか おおぜい ひとひと た よ じゅうよう
中継地点でした。

ゆうふく まち めいもんこう
裕福だったタルソの町は、名門校があったことでも知られています。¹

パウロは若いころ、ガマリエルの生徒としてエルサレムで暮らしていましたが²、タルソで生まれたため、「タルソのサウロ」と呼ばれていたこともあり³。

パウロは改心した後、タルソにもどっています。⁴ その8年後、バルナバはパウロに会うためにタルソへ行き、それから共にアンテオケ（現在のアンタキヤ）へ行きました。⁵

パウロはユダヤ人でしたが、ローマ皇帝が一部のタルソ市民に市民権を与えたため、パウロはローマ市民でもありました。⁶

きゃくちゆう 脚注

1 しとぎょうでん
使徒行伝 21:39

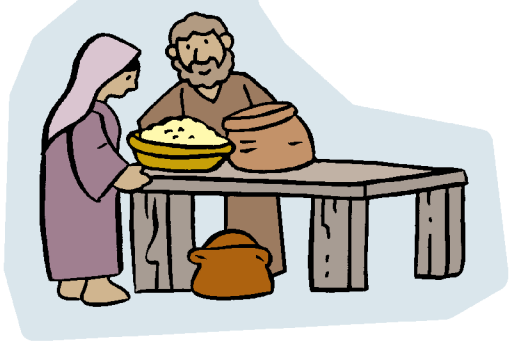
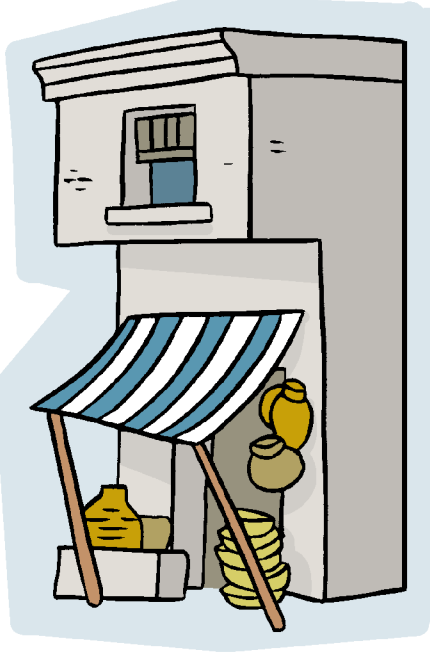
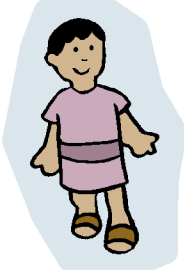
2 しとぎょうでん
使徒行伝 22:3

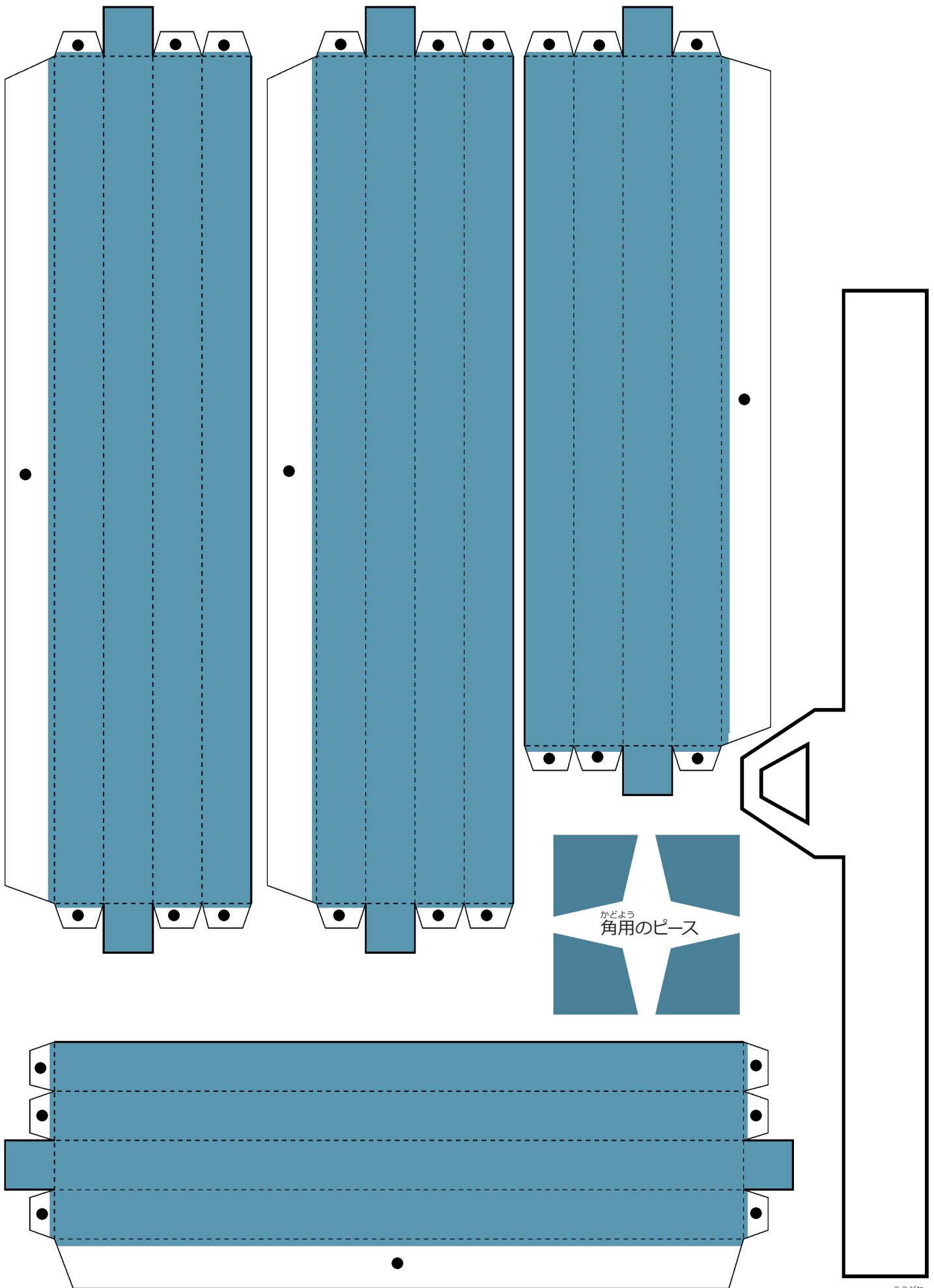
3 しとぎょうでん
使徒行伝 9:11

4 しとぎょうでん
使徒行伝 9:30

5 しとぎょうでん
使徒行伝 11:25-26

6 しとぎょうでん
使徒行伝 22:24-29

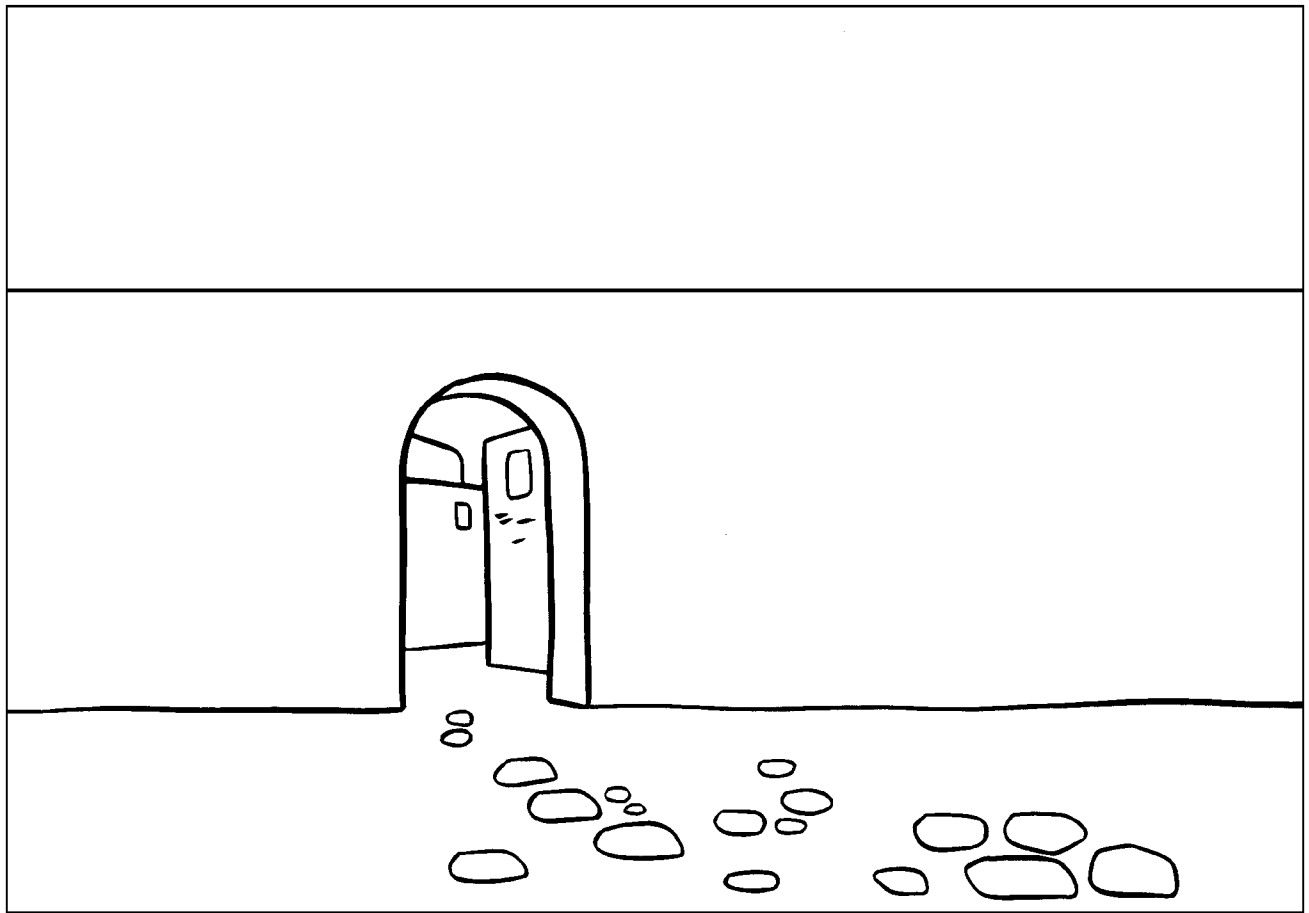




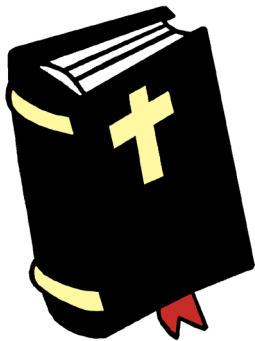
かどよう
角用のピース

よう
フレーム用のピース

うらがわ
フレームの裏側に
は
貼
り
付
け
る
ピ
ース
(シャドーボックスの
つく
かた
作り方はこちら)



せいしよじだい まち まち 聖書時代の町：タルソの町



タルソ（現在の日本語名はタルスス）は、使徒パウロ（サウロ）が生まれた町です。トルコ共和国の中南部の町で、地中海から20kmほど内陸に入った所にあります。現在も、その町はトルコに存在しています。

新約聖書の時代、タルソは、東と西をつなぐ大きな貿易ルート上にありました。この貿易ルートにあるタルソは、地中海にも近く、大勢の人々が立ち寄る重要な中継地点でした。

裕福だったタルソの町は、名門校があったことでも知られています。¹

パウロは若いころ、ガマリエルの生徒としてエルサレムで暮らしていましたが²、タルソで生まれたため、「タルソのサウロ」と呼ばれていたこともありました。³

パウロは改心した後、タルソにもどっています。⁴ その8年後、バルナバはパウロに会うためにタルソへ行き、それから共にアンテオケ（現在のアンタキヤ）へ行きました。⁵

パウロはユダヤ人でしたが、ローマ皇帝が一部のタルソ市民に市民権を与えたため、パウロはローマ市民でもありました。⁶

きゃくちゆう 脚注

1 使徒行伝 21:39

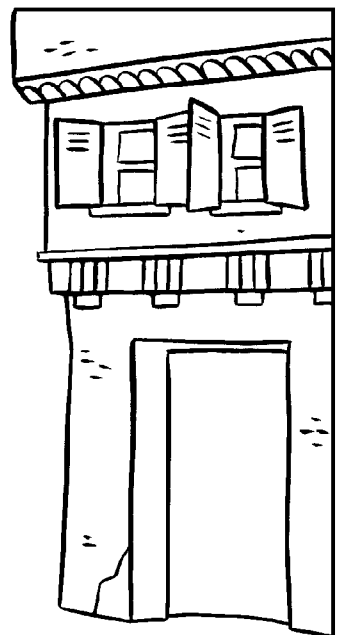
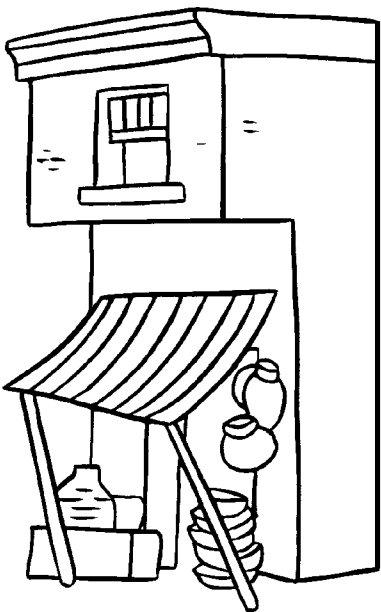
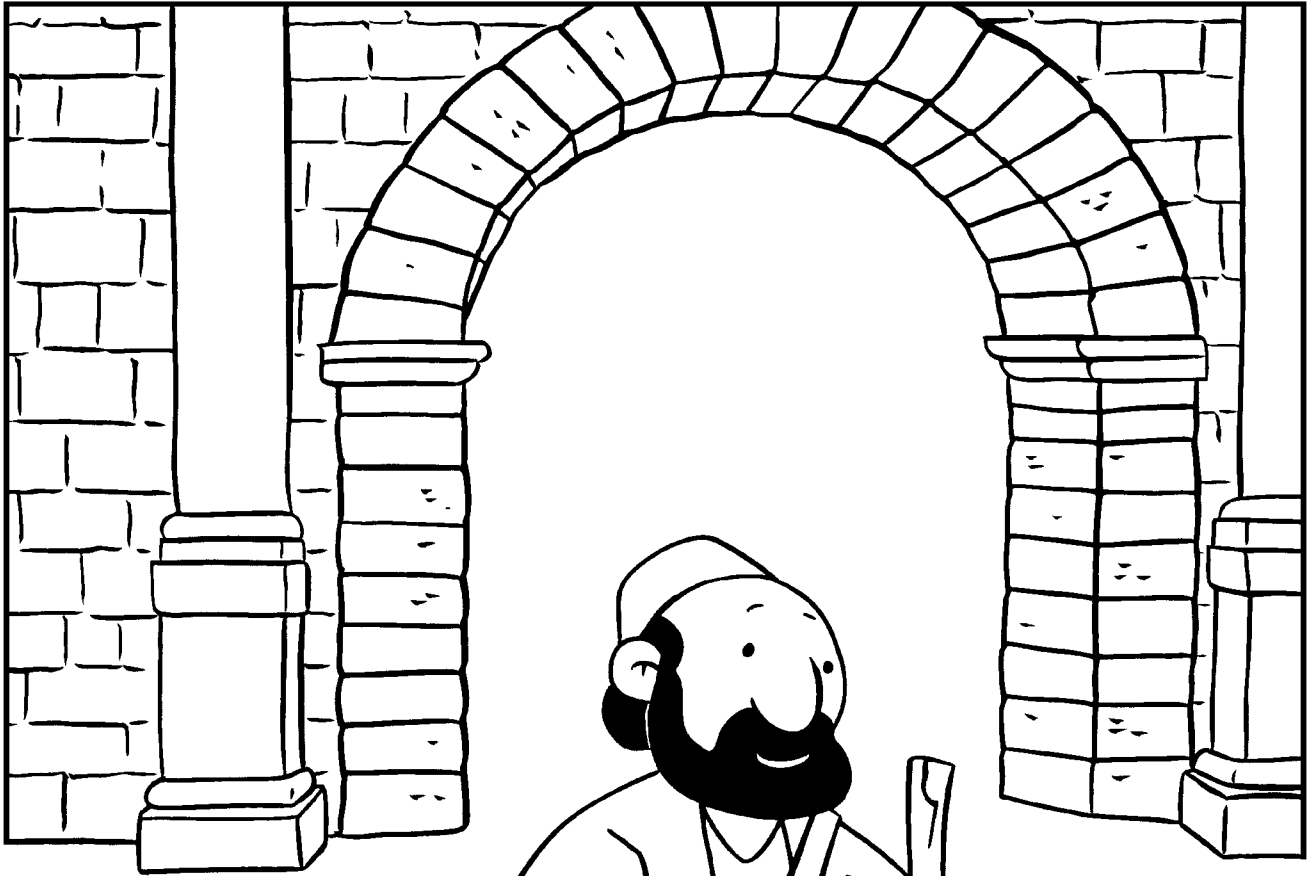
2 使徒行伝 22:3

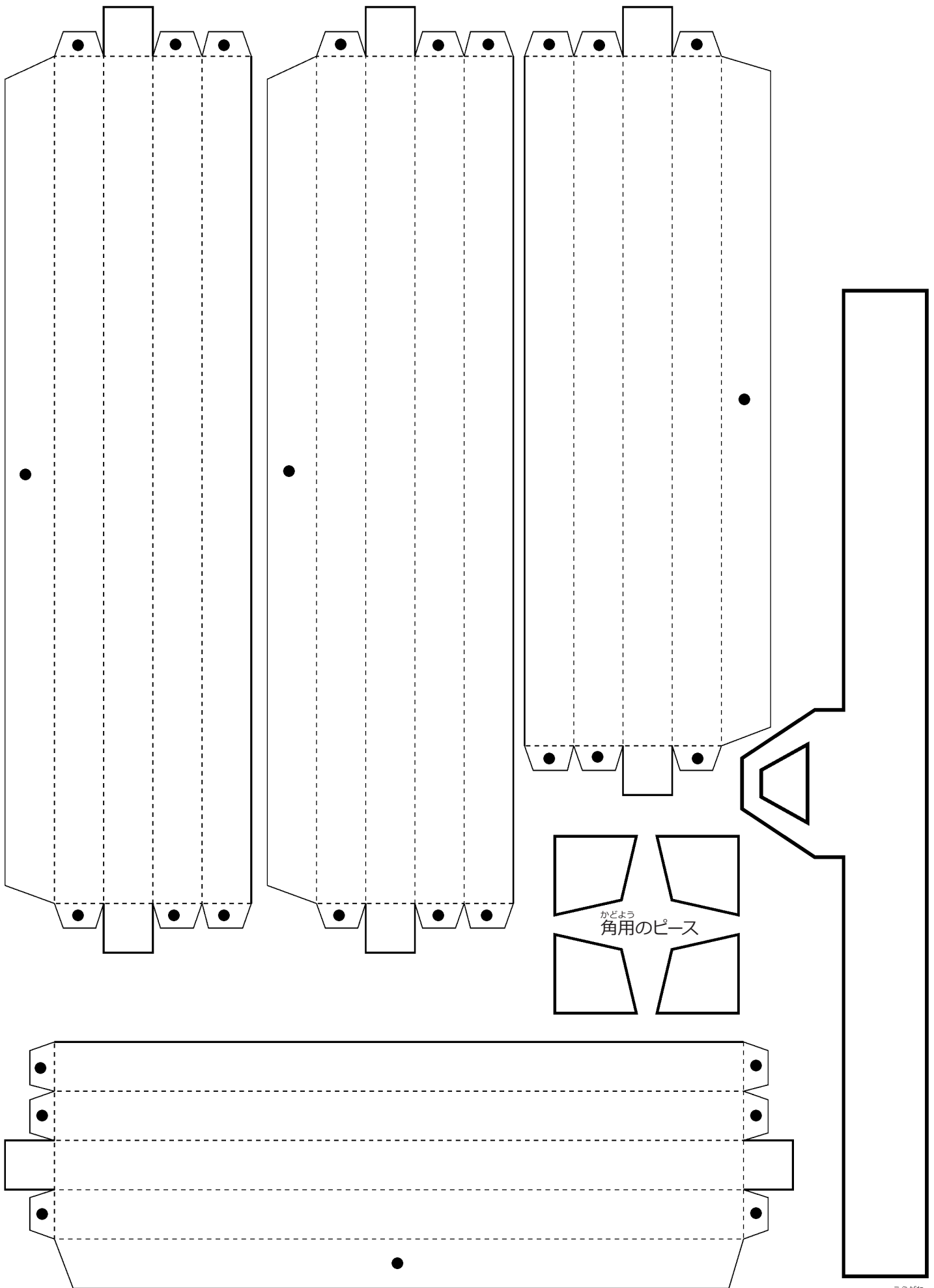
3 使徒行伝 9:11

4 使徒行伝 9:30

5 使徒行伝 11:25-26

6 使徒行伝 22:24-29





フレーム用のピース

フレームの裏側に
は貼り付けるピース
(シャドーボックスの
作り方はこちら)

文と絵とデザイン：ディディエ・マーティン